

所要時間 31分

問 二本松交差点の改良工事を

答 一方方向の改良は厳しいが 県と協議していきます

問 通称二本松交差点については、現在赤池方面から右折し三和酪農農協に出入りする車両が増し、大型車両の通行に支障をきたしています。県や地権者に配慮し、県道佐原多古線の交差点の改良工事を行い大型車両が右折できるよう検討をお願いします。

一方方向あるいは二方向のみの一部改良で認められるかはかなり厳しい状況です。県道との交差点改良なので、県道管理者と道路構造令に基づき関係機関と協議を重ねていくことが必要です。かなりの時間は要しますが、努力していきます。

多古台の定住促進策は

問 多古台の土地購入に関する無記名アンケートの調査でどのような結果が得られましたか。

町長 町内全世帯対象で293件の回答でした。この内、「購入意欲がある」は85件でした。主な意見としては「早く購入したい」で、目的は「自分や家族の住まいとしたい」。土地面積は70〜100坪位で予算は3000万円未満、現在改めて行っている住宅需要調査でさらに精度の高いニーズを把握したいと考えています。

問 土地購入にあたり利点を明記してありますが、同時期に町

内に土地取得した方との間に差が生じるのではないですか。

町長 多古台は、人口減少の傾向にある町の新たな受け皿としての町づくりです。多古台が成熟するためにはまず、定住を促進していく事が肝要と考えます。

問 土地は取得したが、家屋の建築は2〜3年先になる場合の対策はありますか。

町長 土地のみの購入の場合、数年放置される可能性があり、町並みの景観形成上好ましくないと考えます。

問 多古台に定住し通勤通学する場合、町として助成の考えはありますか。

町長 検討を加えていきます。

問 多古台の開発業者に町が土地を提供する場合、私は無償を想定していますが、町はどう考えていますか。

町長 土地の購入代金は分譲価格に反映されます。住宅を安



山口清 議員

く提供するためには、土地代金を無償にする可能性も考えられます。

問 今後の子育て支援についてお聞きします。

町長 次世代育成支援行動計画に基づき、保育・幼児教育・医療等さまざまな角度から総合的に実施していく考えです。

問 児童・生徒のバス通学について、近距離でも通学バス等の利用はできませんか。

教育長 将来子供達が社会に出ていくための健全な体力づくりやさまざまなリスクを学ぶ場として徒歩通学はメリットがあると思います。要求があった場合には許可をしています。全ての路線に子供達をうまく配置するのは難しい状況です。

所要時間 47分

問 西古内町民グラウンドの整備計画は

答 年次計画により整備していきます

問 飯笹・西古内線の完成はいつか

町長 町道飯笹・西古内線の進捗状況を伺います。



町道飯笹・西古内線（終点の飯笹口交差点付近工事現場）

町長 全長2.8キロのうち、事業を2区間に分割し、現在は第1工区としての西古内・高津原地

区を結ぶ1.3キロが完成し、供用開始しています。また、残る1.5キロについても第2工区として昨年度から用地買収に着手し、事業を展開しています。用地買収の第2工区については、昨年度に9割以上の方から用地の提供を受け、残る地権者の方についても、好意的に交渉に応じていただいている状況です。町としては平成26年3月末に全線を開通したいと考えています。

問 主要地方道横芝・下総線の改良工事について伺います。

町長 主要地方道横芝・下総線の飯笹橋及び歩道付き道路の改良工事を県へ要望することについては、飯笹橋のかけかえ並びに周辺道路の線形や高低差の解消も併せて平成22年度から要望しています。また、この路線全体に歩道の設置を要望することについては、本路線が成田空港東側地域戦略構想に基づきさまざまな施策を実施する上でも重要な道路ですので、これまで成田土木事務所で行っている五辻、飯笹地

区の舗装・補修工事や排水路整備工事の継続促進も含め、強く要望していきたくと考えています。

空港東側の戦略構想は

問 成田国際空港東側地域戦略構想策定業務について伺います。

町長 成田空港の航空機発着枠の拡大と町西部を縦断する圏央道の開通、併せて国道296号インターと県道成田小見川鹿島港インターの整備と、空港東側地域に高まるポテンシャル（可能性）を町がしっかりと受けとめ、空港周辺の地域の将来像を描き、そのための地域づくり、土地利用の方向性を示すものです。戦略構想の策定と、それに係る調査、会議の運営等の一切の業務を、（株）ちばぎん総合研究所へ委託するもので、5月1日に390万6千円で契約しました。



鎌形 邦雄 議員

グラウンド整備は急務では

問 西古内町民グラウンドの今後の整備計画について伺います。

教育長 町民体育館の老朽化を始めるとする社会体育施設の総合的な整備の遅れが懸念事項となっています。このような状況を計画的に改善していくために、社会体育施設整備庁内検討委員会を立ち上げ、施設ごとの位置付けと将来に向けての整備計画を現在検討しています。西古内グラウンドについては、現在使用している野球、サッカー、グラウンドゴルフ、ゲートボール等に対応する整備を基本に、排水路及び進入路、トイレ、駐車場等グラウンドとしての基盤を年次計画で整備していきます。本年度はトイレの衛生環境を改善するための簡易水洗トイレを2基更新しましたが、周辺の環境や備品関係についても計画的に今後整備していきたいと考えています。